

新編 国歌大観

第十卷
江定數歌
補 歌合
遺編
編編Ⅱ Ⅱ

索引



苏工业学院图书馆
藏书章

新編国歌大観 第十卷

定数歌編Ⅱ、歌合編Ⅱ、補遺編 索引

平成四年四月 十日 初版発行
平成七年一月二十日 三版発行

編 者 「新編国歌大観」編集委員会

発行者 角川歴彦

発行所 株式会社角川書店



東京都千代田区富士見二一―十三―二一 郵便番号 一〇一

振替〇〇一三一〇一九一―九五一〇八 電話 営業〇三一三八一七一八五五

編集〇三一三八一七一八五五

印刷・製本所 凸版印刷株式会社

© Printed in Japan ISBN4-04-021102-2 C3592

落丁・乱丁本はこの面倒でも小社角川・フク・サービス宛にお
送りください。送料は小社負担でお取り替えいたします。

凡例

(一) この索引部は、『新編国歌大観』第十巻定数歌編Ⅱ、歌合編Ⅱ、

補遺編I・IIの歌集部に収めた各集並びに各作品（以下あわせて各集と呼ぶ）の和歌・連歌・歌謡・漢詩句（漢詩一編の全形および一句乃至は数句を抜き出した形のものを含む）等の本文を、各句に分け、

（後掲の漢詩の「字音索引」を例外として）五十音順に排列し、各集に与えた集番号・各集の略称、および各歌などに与えた歌番号等によつて、それぞれの所在を指示するものである。

(二) この索引部で検索の対象としたのは、次のいずれかに該当するものである。

(1) 歌集部の各集に独立した形で見えて、歌番号を与えた歌
歌・連歌・歌謡・漢詩句。

(2) 判詞・詞書・左注・評語等の中に完全な形で引用されている和
歌。

(3) 歌合における判歌・判詩。

(4) 解題中の和歌。

(三) 和歌・連歌・歌謡の所在を指示するには次のような方法によつた。

(1) 各集中の歌番号を与えた和歌・連歌等については、まずその集

番号と集略称を掲げ、次にその和歌・連歌等の歌番号を掲げた。

(四) 和歌・連歌・歌謡の各句を掲出するに当たり、表記および排列に関してとつた処置は次の通りである。

(1) 和歌・連歌・歌謡の各句は、清濁を無視し、字音語を含めて平
仮名歴史的仮名遣いによつて統一した上、五十音順に排列し

(例) くもりなるらむ 181 歌枕名 五一六三

(2) 詞書・左注・評語中の和歌については、集番号・集略称の次に、その詞書・左注・評語を持つ和歌の番号を掲げ、その歌番号の下に「詞」「左」「評」の文字を付した。

(例) まちつるひとは 23 祐茂百七一 詞
うきはしを 180 五代枕 一五一九 左

そのいろとしも 9 宗三百 一二三一 評

(3) 判歌・判詞中の和歌については次のようないし置をとつた。すな
わち、集番号・集略称の次に、その判歌・判詞を持つ結番にお
ける後の歌の番号を掲げて、その下に「判」の文字を付した。
(例) しののめのつき 118 将軍合 九六 判

(4) 各集の解題中の和歌については、集番号・集略称の下に「解」
の文字を付記した。なお解題に収録した順序に従つて番号を与
えられている歌は、「解」の文字の下にその番号をも記した。
(例) あきのよのつき 21 順徳百解
こころにすめる 34 尊円百解 二七

1

た。歌集部で底本のままとした助動詞「ん」「けん」「らん」等は「む」「けむ」「らむ」等に統一した。なお句頭に、判読不能の□・□・□、空白の「　」がある場合は、五十音の後に置いた。

(2)歴史的仮名遣いを異にする二語を、掛詞として含む句については、両様の形で掲出した。

(例) あひみそめまし 131 七一職 一六

あみみそめまし 131 七一職 一六

(3)同一の句が六句以上ある場合は、その句の次に一記号を付して次の句を示し、次の句も六句以上ある場合は、更に||記号を付してその次の句を示した。

(例) しらたまの

一かかるころもの 4 師兼千 九八四

はるのよの

一やみはあやなし

||うめのはな 196 色葉和 七四二

ただし、最終句が同一の場合は、前の句を掲出し、一記号を下に付した。

(例) つきを見るかな

あきにかはらぬ 135 建十首 一〇〇

(4)本文に校異が付されている場合は、その異文の形をも掲出した。また、「むま」「うま」、「かみなつき」「かむなつき」「かんなつき」のように歌集部で二通り以上の表記に分かれている語で句頭にくるものについては、必要に応じて参考見出しをも設けた。「おしね」「をしね」等のごとく歴史的仮名遣いが現在のところ一つにきまっていないものや、「入日」(いりひ・いるひ)のごとく該当箇所の本文が漢字で記されていて二通り以上のみが考えられるものもこれに準じた。

(5)①漢詩句は字音索引(頭字の漢音による五十音順)を設け、和歌索引のあとに掲げた。
②字音索引での所在を示す方法は和歌索引と同様である。すなわち集番号・集略称・漢詩句の番号をもって示した。

(例) 嶺上樓台高有勢 80 和漢合 一五

(3)判詩については、判歌と同様、集番号・集略称の次に、その判詩を持つ番えられた詩歌のうち後の方の番号を掲げ、その番号の下に「判」の文字を付した。

(例) 周詩和語雖詞異 108 守遍合 二判

④歌集部に収めた各集の集番号と略称とは次の通りである。

第十卷 定数歌編Ⅱ、歌合編Ⅱ、補遺編 略称一覽

為家千首	1 為家千	祐茂百首	23 紂茂百	南都百首(兼良)	45 南都百	歌合 建保五年四月廿日	65 建保四
耕雲千首	2 耕雲千	為家一夜百首	24 為家百	世中百首(守武)	46 世中百	右大將家歌合 建保五年八月	
宗良親王千首	3 宗良千	實兼百首	25 美兼百	定家名号七十首	47 定七十	四十番歌合 建保五年十月	67 四十合
師兼千首	4 師兼千	為兼鹿百首	26 為兼鹿	七夕七十首(為理)	48 七夕七	歌合 建保七年二月十一日	69 建十二
長慶天皇千首	5 長慶千	後二條院百首	27 後二百	國冬五十首	49 國五十	尊円親王五十首	50 尊五十
俊成五社百首	6 俊五社	國冬百首	28 國冬百	尚賢五十首	51 尚五十	日吉社大宮歌合 承久元年	70 日吉大
為家五社百首	7 為五社	國冬祈雨百首	29 國冬雨	延明神主和歌	52 延明神	日吉社十禪師歌合 承久元年	
安嘉門院四条五百首	8 安五百	国道百首	30 国道百	頓阿五十首	53 頓五十	頓阿五十首	71 日吉十
宗尊親王三百首	9 宗三百	資広百首	31 資広百	頓阿百首	53 頓五十一	山家三番歌合	54 山家三
法門百首(寂然)	10 法門百	一宮百首(尊良親王)	32 一宮百	通具(後成卿女歌合	55 通具合	日吉社撰歌合 寛喜四年	72 日吉撰
登蓮恋百首	11 登蓮百	尊円親王詠法華經百首	33 法華百	三十六番相撲立詩歌	56 三相撲	日吉社知家自歌合 嘉禎元年	73 日吉知
俊成祇園百首	12 祇園百	尊円親王百首	34 尊円百	御室撰歌合	57 御室撰	閑窓撰歌合 建長三年	74 閑窓撰
公衡百首	13 公衡百	徽安門院一條集	35 徽安門	內裏歌合	58 內建八	宗尊親王百五十番歌合	弘長元年
寂蓮無題百首	14 寂無百	等持院百首(尊氏)	36 等持百	歌合	59 建曆八年	住吉社歌合 弘長三年	76 住吉弘
寂蓮結題百首	15 寂結百	後普光園院百首(良基)	37 後普百	歌合	60 建曆九年	玉津島歌合 弘長三年	77 玉津合
忠信百首	16 忠信百	頓阿百首A	38 頓阿A	歌合	61 禁裏合	禁裏歌合 建保二年七月	
道家百首	17 道家百	頓阿百首B	39 頓阿B	歌合	62 建曆六年	月卿雲客妬歌合	建保三年六月
後鳥羽院遠島百首	19 遠島百	頓阿句題百首	40 頓阿句	歌合	63 建曆廿二	十五番歌合(弘安)	79 十五番
土御門院百首	20 土御百	寶篋院百首(義詮)	41 宝篋百	歌合	64 建廿四	和漢名所詩歌合	80 和漢合
順德院百首	21 順德百	慶運百首	42 慶運百	歌合	歌合 建保四年八月廿二日	歌合 弘安八年四月	81 弘安八
長綱百首	22 長綱百	耕雲百首	43 耕雲百				
		雲空賸語(耕雲)	44 雲空賸				

伝伏見院宸筆判詞歌合	82	伏見合	持明院殿御歌合	康永元年十一月四日	120	文龜合	現存卅六人詩歌	144	現卅六		
伊勢新名所絵歌合	83	伊勢合	持明院殿御歌合	康永元年十一月廿一日	103	持明四	正応二年三月和歌御会	145	正二会		
歌合 永仁五年八月十五夜	84	永仁五	三十番歌合	伝後伏見院筆(貞和末)	104	持明康	正応三年九月十三夜歌会歌	146	正三会		
歌合(正安元年(嘉元二年)	85	正安合	五十四番詩歌合	康永二年	105	詩歌康	正応五年厳島社頭和歌	147	厳島社		
五種歌合 正安元年	86	五種合	三十番歌合	伝後伏見院筆(貞和末)	106	後伏合	永仁元年内裏御会	148	永仁会		
三十番歌合(正安二年(嘉元元年)	87	三十番	歌合 後光嚴院文和之比	後光合	107	後光合	詠五十首和歌(金沢文庫)	149	詠五十		
金玉歌合	88	金玉合	守遍詩歌合	守遍合	108	守遍合	和歌詠草(金沢文庫)	150	和歌詠		
歌合 正安四年六月十一日	89	正安四	百番歌合(応安三年(永和二年)	百番合	109	百番合	花十首寄書	151	花十首		
為兼家歌合(乾元二年)	90	為兼合	仙洞歌合 崇光院(応安三年(四年)	仙洞合	110	崇光合	五十首和歌(金沢文庫)	149	詠五十		
二十番歌合(嘉元(徳治)	91	二十番	東北院職人歌合 十二番本	十二番本	128	職十二	正和四年詠法華經和歌	152	法華歌		
歌合 乾元二年五月	92	乾元二	鶴岡放生会職人歌合	鶴岡放	129	鶴岡放	元応二年八月十五夜月十首	153	元十首		
後三条院歌合 乾元二年七月	93	後二合	三十二番職人歌合	三十二職	130	三二職	亀山殿七百首	154	亀七百		
歌合 嘉元三年三月	95	嘉元三	七十一年職人歌合	七一年職	131	七一年職	正中三年禁庭御会和歌	155	正中会		
永福門院歌合 嘉元三年正月	96	十五延	南朝三百番歌合 建德二年	111	南朝合	北野宝前和歌(元徳二年)	156	北野宝			
十五番歌合(延慶二年(応長元年)	97	延慶合	頓阿勝負付歌合	112	頓阿合	元徳二年七夕御会	157	元七夕			
歌合 嘉元三年三月	98	詩歌合	三十番歌合(応安五年以前)	三十合	113	三十合	元徳三年八月一日御会	158	元徳会		
外宮北御門歌合 元亨元年	99	外宮合	詩歌合 文安三年	114	文安合	道助法親王家五十首	137	道五十	北野社百首和歌(建武三年)	160	建住吉
石清水社歌合 元亨四年	100	石清元	仙洞歌合 後崇光院	宝徳二年	115	後崇合	建武三年住吉社法樂和歌	161	北野百		
比叡社歌合	101	比叡合	武家歌合 康正三年	116	武家合	二十八品並九品詩歌	140	二八品	曆応二年春日奉納和歌	162	曆春日
源氏物語歌合	102	源氏合	武州江戸歌合 文明六年	117	武州合	持軍家歌合 文明十四年六月	118	將軍合	持明院殿御会和歌	163	持明会
歌合 文明十六年十二月	119	文明合	弘長三年二月十四日龜山殿御会			玄惠追善詩歌	165	玄惠追	持明院殿御会和歌	163	持明会
白河殿七百首	143	白七百	弘長三年二月十四日龜山殿御会			金剛三昧院奉納和歌	164	金剛奉	源氏物語歌合	102	源氏合
為世十三回忌和歌	166	為世忌	玄惠追善詩歌	165	玄惠追	金剛三昧院奉納和歌	164	金剛奉	歌合 文明十六年十二月	119	文明合

経旨和歌	167 経旨歌	朗詠題詩歌	184 朗詠題
正平二十年三百六十首	168 正三百	三百六十首和歌	185 三百六
貞治六年二月廿一日和歌御会		大嘗会悠紀主基和歌	186 大嘗会
応安二年内裏和歌	171 応安内	蒙求和歌 片假名本	188 蒙求片
大山祇神社百首和歌	172 大山祇	蒙求和歌 平仮名本	189 蒙求平
熱田日本本書紀紙背懐紙和歌	173 热田歌	百詠和歌	190 百詠歌
法隆寺宝物和歌	191 法隆寺	法隆寺宝物和歌	191 法隆寺
佚名歌集(徳川美術館)	192 佚徳川	佚名歌集(徳川美術館)	193 佚穗久
荒木田永元集	194 永元	伊勢物語古注釈書引用和歌	210 古今注
言葉集	176 言葉	源氏物語古注釈書引用和歌	211 伊勢注
伏見院御集 冬部	195 伏見冬	源氏物語古注釈書引用和歌	212 源氏注
色葉和難集	196 色葉和	伊勢物語古注釈書引用和歌	213 六花注
和歌会次第	197 会次第	六花集注	214 太神宮
蓮性陳狀	198 蓮性陳	太神宮參詣記	215 小島
勅撰作者部類付載作者異議	199 勅撰作	小島の口づさみ	216 道行触
和歌密書	200 和歌密	鹿苑院殿嚴島詣記	217 鹿苑院
和歌灌頂次第秘密抄	201 和歌灌	松陰中納言物語	232 松陰中
玉伝集和歌最頂	202 玉伝和	八重葎 別本	235 八重別
高良玉垂宮神秘書紙背和歌	183 高良玉	八重葎 別重	236 夢通路
飛月集	182 飛月	夢の通路	
都のつと	218 都つと	なぐさめ草	219 なぐ草
道行触	216 道行触	筑紫道記	220 筑紫道
鹿苑院殿嚴島詣記	217 鹿苑院	ふぢ河の記	221 ふぢ河
松陰中納言物語	232 松陰中	吉野拾遺	222 吉野拾
八重葎 別本	235 八重別	なよ竹物語絵巻	223 なよ竹
八重葎 別重	236 夢通路	あきぎり	224 あきぎ
夢の通路		海人の刈藻	225 刈藻
なぐさめ草		風に紅葉	226 風紅葉
なぐ草		雲隠六帖 別本	227 雲隠
		雲隠六帖 別本	228 雲隠別
		雪に濁る	229 雪に濁
		白露	230 白露
		葉月物語絵巻	231 葉月絵
		松陰中納言物語	232 松陰中
		むぐら	233 むぐら
		八重葎	234 八重
		八重葎 別重	235 八重別
		夢の通路	236 夢通路

新編国歌大觀

第十卷

定数歌編Ⅱ、

歌合編Ⅱ、

補遺編

和歌索引

